

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	ジェンダーの現在 (Contemporary Gender Studies)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	現代日本社会のジェンダー分析		
担当者名 (Instructor)	皆川 満寿美(MINAGAWA MASUMI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)		言語 (Language)	
備考 (Notes)	2012年度以降1年次入学者履修不可 立教科目：人権		

授業の目標 (Course Objectives)

「ジェンダー」を切り口に、持続可能性が危ぶまれている日本社会の現状を知り、進むべき方向を具体的に理解できるようになる。

授業の内容 (Course Contents)

現在、日本社会が男女平等だと思っている人がいるとしたら、それはとんでもない誤解である。しかし、若い人たちはそう誤解させられてきた。この誤解を解き、そこに現れた変化と変革を推し進める人々の努力を可視化しつつ、「ジェンダー」の観点から、日本社会の現在を描き出す。また、この作業は、現在日本社会が直面している「持続可能性の危機」の中身を理解する作業であり、解決のための処方箋を考えることでもある。そのことを理解する。

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 女性労働の現在—日本で「女」として働くということ (1)
3. 女性労働の現在—日本で「女」として働くということ (2)
4. 女性労働の現在—日本で「女」として働くということ (3)
5. 少子高齢社会とジェンダー (1)
6. 少子高齢社会とジェンダー (2)
7. 少子高齢社会とジェンダー (3)
8. 性暴力と社会の編成 (1)
9. 性暴力と社会の編成 (2)
10. 性暴力と社会の編成 (3)
11. 「セクシュアル・マイノリティ」の困難 (1)
12. 「セクシュアル・マイノリティ」の困難 (2)
13. 「セクシュアル・マイノリティ」の困難 (3)
14. 「セクシュアル・マイノリティ」の困難 (4)

授業時間外 (予習・復習等) の学習 (Study Required Outside of Class)

トピックに関係のあるマスメディア記事や出版物について敏感である必要がある。「最近〇〇があったでしょう？」と教員に言われて、「多少は聞いたことがあった」くらいの状態であることが望ましい。もちろん、詳しく知っている状態は歓迎される。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)/コメントペーパー(60%)

授業ごとに求めるコメントペーパー(実施回数未定。使い方は独特なので注意。初回の授業時に説明する)と期末に提出するレポートにより採点する。コメントペーパーの提出には電子メールを利用する。

テキスト (Textbooks)

決まったテキストは用いず、資料プリントを多数配布する。

参考文献 (Readings)

適宜言及する。

その他 (HP等) (Others(e.g. HP))

授業中の緊張感は非常に高い。ノートをとる能力が高くないと落伍するのでそのつもりで。初回（ガイダンス）は重要である。

性というカテゴリはすべての人が帯びているものとなっているゆえに、ここでの議論は様々なかたちであなた自身を「切る」可能性がある。そのような経験の中から、自分の思考を鍛えていきたい人の参加を強く期待する。高校までの「社会科」によって奪われた「考える力」を取り戻し、常識や権威にとらわれず、たった一人でも考えていく力を養いたい。

注意事項 (Notice)